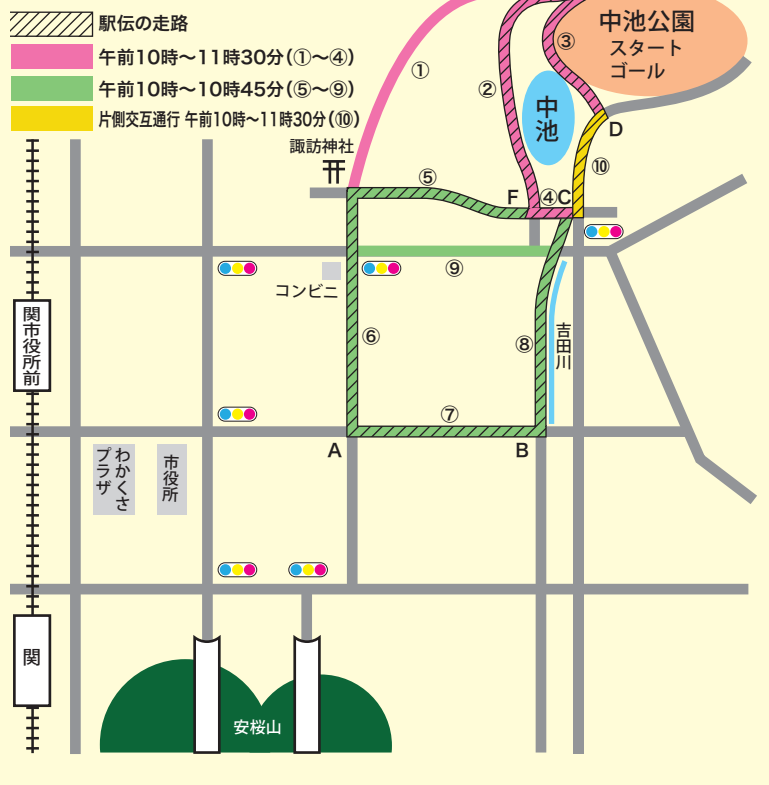


コース略図および交通規制図



照会先 スポーツ推進課 ☎ 23 - 7766 FAX 23 - 7765

関市駅伝競走大会交通規制にご協力を

■規制日 1月19日(日)

■規制内容 区間全面車両通行止め(①～⑨)

区間片側交互通行(⑩)

■規制時間と規制区間

※規制時間：午前10時～11時30分

▽① E地点から諏訪神社前交差点まで

▽② E地点からF地点まで

▽③ D地点からE地点まで

▽④ C地点からF地点まで

▽⑤ C地点からD地点まで

※規制時間：午前10時～10時45分

▽⑤ F地点から諏訪神社前交差点まで

▽⑥ 諏訪神社前交差点からA地点まで

▽⑦ A地点からB地点まで

▽⑧ B地点からC地点まで(吉田川沿い西側道)

▽⑨ 塔ノ洞信号交差点から黒屋信号交

差点まで

(左の図をご覧ください)

環境シンポジウム

入場無料

生物多様性が注目されています。

生物多様性が、私たちの日常の暮らしと密接に関わっていることを知っていますか？あらゆる生物には生きる権利があります。

自然環境の変容とともに野生生物の減少が進むなか、いくつかのチョウも姿を消してしまいました。

チョウを通して関市の恵まれた自然環境を再認識し、将来の世代に残していくためには、また、人と自然との共存するためには私たちには何ができるか皆さんと一緒に考えましょう。

■日時：平成26年1月19日(日) 午後1時30分～4時30分

■場所：わかくさ・プラザ 「学習情報館・多目的ホール」

●講演

演題：チョウを通して人と自然との共存を考えてみよう

講師：中村 康弘氏 (NPO法人日本チョウ類保全協会 事務局長)

内容

●トークセッション

講師、環境市民団体による意見交換

●展示(エントランスにて)

環境市民団体の環境活動に関する展示

●その他

先着200人に記念品を進呈

主催：関市

後援：関市自治会連合会

協力：環境ネットせき

照会先 生活環境課 ☎ 23 - 7702 (直通)



中村 康弘 氏 プロフィール

昭和47年神奈川県に生まれる。
大阪府立大学農学部博士前期課程修了。
(財)自然環境研究センター研究員、岐阜県立森林文化アカデミー助手を経て、現在、NPO法人日本チョウ類保全協会事務局長。森林文化アカデミー時は、関市の生きものの調査及び保全活動を行う。
現在は、チョウの視点から、全国で自然環境の保全を進めている。



西部地区・洞戸地域複合施設の

愛 称 募 集

関市では、西部地区と洞戸地域に、それぞれ支所・事務所とふれあいセンターを併設した複合施設を建設中です。

平成26年度の開館に合わせ、施設の愛称を募集します。

【照会先】総務管財課 ☎ 23-7763

施設の内容

西部地区複合施設（所在地 関市小屋名110番地）

●関市役所西部支所

現在の西部支所を移転し、戸籍・住民票、税の証明などの窓口業務を行います。

●関市西部ふれあいセンター

地域住民の交流と活動の拠点となる施設で、多目的室・会議室・調理室・児童室・和室などを設けます。



洞戸地域複合施設（所在地 関市洞戸市場294番地5）

●関市洞戸事務所

現在の洞戸事務所を移転し、引き続き本庁各課の補助業務を行います。

●関市洞戸ふれあいセンター

地域住民の交流と活動の拠点となる施設で、多目的室・会議室・調理室・児童室・和室などを設けます。



◆ 応募方法 ①はがき、②FAX、③電子メールのいずれかの方法

◆ 記入事項 「西部地区」か「洞戸地域」の別、名称（愛称）、理由、郵便番号および住所、氏名、年齢、電話番号を記入

◆ 応募先 ①〒501-3894 関市若草通3丁目1番地 関市役所総務管財課「愛称募集係」
②FAXの場合 ☎ 0575-23-1600
③メールの場合 somukanzai@city.seki.lg.jp

◆ 募集期間 1月1日（水・祝）～1月31日（金）はがきは当日消印有効

◆ 発表および賞 発表：広報せきおよび市ホームページにて
賞：優秀賞（各1点）および佳作（各1点）に粗品を贈呈

再就職支援セミナー in 関

あなたの
再就職を
応援します！

照会先 商工課 ☎ 23-6752

- 期 日 1月23日(木)
- 場 所 わかくさ・プラザ「学習情報館・2-1研修室」
- 定 員 各回20人(申し込み順)
- 受講料 無料
- 申込先 岐阜県総合人材チャレンジセンター ☎058-278-1149

ママさん対象 「家族のために！自分のために！再就職の準備と心構え。」

- 時間：午前10時～正午 ●対象：子育て中の母親
- 内容：再就職への心構えと準備のために、「自己分析や自己理解」を深め、就活のためのアピールポイントの幅を広げます。今からできる準備を少しずつ始めませんか？

中高年対象 「就活スキル強化セミナーと個別相談会」

- 時間：午後1時30分～3時30分 ●対象：おおむね45歳以上の方
- 内容：「再就職活動の流れと求人情報の探し方」をテーマに、労働市場情報の理解と求職者に求められる就活ノウハウを学びます。「相手に響く面接のコツ」なども紹介します！

永年勤続優良従業員と 卓越技能者を表彰

勤労感謝の日の平成25年11月23日、アピセ・関において「関市勤労感謝祭」を開催し、商工業永年勤続優良従業員423人と卓越技能者3人を表彰し労をねぎらいました。

永年勤続優良従業員表彰は、永年同じ事業所に勤務し、他の従業員の模範となる方を、卓越技能者表彰は、永年にわたり卓越した技能をもって市の産業の発展と伝統技能の伝承に貢献された方を表彰するものです。商工業永年勤続優良従業員表彰35年勤続以上および卓越技能者表彰された方は、次の皆さんです。

(敬称略)

【永年勤続優良従業員】

【50年勤続】

▽鍋屋バイテック(株) 大塚勝弘

【45年勤続】

▽トヨキッチンアンドリビング(株) 小椋紘文、後藤清、森弘

▽ナガセインテグレーション(株) 鬼頭和広

▽高井保行(株) 鍋屋バイテック(株) 池田梅吉

▽フエザー安全剃刀(株) 西田健一

▽渡辺卓美(株) 松山製菓(株) 関工場 新川勝彦

▽石原孝夫(株) ミソノ刃物(株) 井川重男

▽石原孝夫(株) ミソノ刃物(株) 幅敏文

▽カインダストリーズ(株) 岸義一、松本正夫

▽協同印刷(株) 足立守、(株) スミカマ 兼松重光

▽順敬、北瀬敬子、松岡美佐子

▽トヨキッチンアンドリビング(株) 小

▽松本正夫(株) 川嶋工業(株) 助川敏郎

▽松本正夫(株) 川嶋工業(株) 助川敏郎

▽松本正夫(株) 川嶋工業(株) 助川敏郎

▽松本正夫(株) 川嶋工業(株) 助川敏郎

▽松本正夫(株) 川嶋工業(株) 助川敏郎

野木淳 ▽日本利器工業(株) 小川鉄夫 ▽(株) 野田建設 加藤徳美 ▽フエザー安全剃刀(株) 荻英二、河合隆、河合實、後藤滋、小森幸久、坂井日出夫、猿渡忍、長瀬実、村山喜久雄 ▽福田刃物工業(株) 上野久司 ▽ミソノ刃物(株) 織部敏 ▽三星刃物(株) 小酒井重則、澤村学 ▽宮川工業(株) 渡邊公歳 ▽山口鍍金工業(株) 山口政美

【35年勤続】

▽(有) KANO Precision

▽加藤初男 ▽(株) 共進金属工業所

▽渡辺剛 ▽青協建設(株) 秋杉達也、船渡隆裕

▽和、平野隆司 ▽関商工会議所 石丸弘康司 ▽東明サービス(株) 高井朝子

▽丹羽恒男 ▽(株) 東洋化学 幅裕市

▽トヨキッチンアンドリビング(株) 井桁一弘、市原弘幸、辻悟、筒井新次、馬場宏司、福田裕二

▽ナガセインテグレーション(株) 遠藤敏之、小久保重紀、須田和彦、西村政昭

▽鍋屋バイテック(株) 梅村英也、栗原敬雄、佐藤雅英 ▽濃飛西濃運輸(株) 澤崎哲朗、西部典章、西村一彦

▽原田進一 ▽長谷川刃物(株) 川村良一 ▽フエザー安全剃刀(株) 石原満

▽宮川工業(株) 早川晴美、山本浩二

▽明治安田生命保険相互会社 関営業所 石木操 ▽義春刃物(株) 塚原美佐子

▽早川悟(配管工)

▽丹羽晋(刃物製造工)

▽松波康治(金属加工機械組立工)

◆照会先

関商工会議所 ☎ 23-6752

商工課 ☎ 23-6752

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

☎ 22-2266

篠田桃紅美術空間からのお知らせ

「篠田桃紅芸術月間2014」

Solitary 桃紅のかたち」展

【照会先】篠田桃紅美術空間（市役所7階） ☎23—7756

篠田桃紅は2013年、100歳を迎えました。101歳となる今回の関市立篠田桃紅美術空間、岐阜現代美術館の2館協同企画「篠田桃紅芸術月間2014 Solitary 桃紅のかたち」では、エッセイに綴られたことばと水墨のかたちから、洗練された桃紅の美意識を紹介しています。

古典をベースにした叙情的な作品から、次第に研ぎ澄まされた墨線による抽象へとその作風を変遷させました。本展では、筆と墨が織りなす魅力的な桃紅のかたちに注目し、約30点を展示します。厳しく自由な桃紅の心を映し、豊かに変容し続けるその魅力をお楽しみください。

桃紅といえば、墨による抽象画家として広く知られ、初個展から70年余りにおよぶ創作の中で発表された作品の多くは、国内外の美術館やコレクターが所蔵し、公共施設や企業、ホテルなどの建築空間に設置されるなど、日本の墨象作家の中で最もよく知られた一人といえるでしょう。馥郁（ふいく）とした墨の面が広がる静かな画面、また時に勢いのある細い墨線が走る緊張した画面。桃紅の美意識に裏付けられた水墨のかたちは、時々うつろう桃紅の心を映してきました。

桃紅は幼い頃より書を学び、戦後の数年間、書壇に所属し書道芸術院に出品し、かな書を基にした作品を発表しました。しかし1956年から約2年間渡米。帰国後は文字による表現から離れ、線と面で構成された作品を制作し始めます。日本の



- 「篠田桃紅芸術月間2014 Solitary 桃紅のかたち」
- ◆会期：1月8日（水）～3月23日（日）
- ◆入館料：高校生以上300円・中学生以下無料
- ◆休館日：月曜日、祝祭日の翌日（ただし3月22日は開館）
- ◆開館時間：午前9時～午後4時30分
- ◆作品鑑賞会：2月8日（土）13：30～14：30（事前申込不要、ただし観覧券が必要）

平成26年度

留守家庭児童教室の案内

授業終了後、帰宅しても保護者不在の児童のために、小学校などで留守家庭児童教室を開き、子どもたちの健全な育成を図ります。

◆教室 市内各小学校区で開設

◆対象児童 小学1年生～4年生

※倉知小は3年生まで。

※新1年生は入学式の翌日からの入室となります。

◆開室時間 授業終了時から午後6時

※長期休業期間または学校行事の振替休日などは、午前8時から午後6時。

◆入室要件 次のいずれかの理由により、1力月に15日以上利用する必要がある場合。（利用日数が少ない場合は退室となります）

①児童の保護者が労働などにより昼間家庭におらず、その監護が1力月につき15日（1日4時間以上）の勤務が必要）以上欠け、3ヶ月以上継続すること。

※家庭内または近隣に父母以外で児童の世話ができる祖父母などがないこと。（いる場合は監護できない旨の証明が必要）

②出産予定月と前後1力月は入室可。

③就労の準備のため通学（就業訓練校など）

※保護者（父母・祖父母などを含む）全員の就労証明書などが必要。

◆使用料 月額3000円（同一世帯の2人目から半額）

※別途実費負担金（おやつ代など）が必要となります。

※減免制度有り（別途申請が必要）

◆申込期間・照会先 2月3日（月）～2月21日（金）までに所定の申込書に記入のうえ、子ども家庭課（☎23—7733 ㊟23—7748）、各地域事務所、西部支所に提出してください。

※申込書は、子ども家庭課、各留守家庭児童教室、各地域事務所、西部支所にあります。また市ホームページからダウンロードできます。

※現在利用中で、平成26年度も継続利用される場合も申し込みが必要です。

※申し込み期限を過ぎると4月からの入室はできません。

※同じ期間に春休みのみの利用申請も受け付けます。（新1年生は対象外）

広げよう、献血の輪！

皆さんは献血をしたことがありますか？

「献血って何だかわいなぁ」「針も太くて痛そうだなあ」と思っている方も多いと思います。

そんな方のために、献血の様子について少しご説明をします。

関市でご協力いただける献血は、移動採血車による全血(200ml、400ml)献血です。(移動採血車の運行状況は、広報せきや市ホームページなどでご確認ください。)

はじめに、献血の受付で問診票に当日の健康状態を記入していただきます。

次に、医師による問診、血圧測定で健康状態を確認します。そして、少し採血をしてヘモグロビン濃度測定(貧血の心配がないかの確認)と血液型の事前判定をします。

ここまでOKなら採血ベッドに横になり採血開始、採血時間は10分～15分程度です。

献血後は水分補給をしていただき、献血カードの発行を受けて、当日は終了です。

その後2週間ほどで、献血していただいた血液の検査結果(コレスト

ロールや肝機能の値など)が自宅に郵送されます。

何だかできそうな気がしませんか？

献血は16歳から69歳の健康な人であればなたでもできる身近なボランティアです。皆さんのやさしさは病気や事故で輸血の必要な方々の生きる希望へとつながっていきます。



献血キャラクター

けんけっちゃん

岐阜県県民生活相談センターからのお知らせです

安心して商品・サービスを選べる環境を守ります

～景品表示法のお話～

昨今、ホテルや飲食店にて、メニュー表示とは異なる食材を使用して料理を提供していたことが判明しています。品質や価格などは消費者が商品・サービスを選ぶ際の重要な基準です。しかし、それらの表示が実際よりも著しく優良または有利と見せかける表示であった場合、消費者は自主的に合理的な選択ができなくなるおそれがあります。このような不当表示から、一般消費者の利益を守るための法律が景品表示法です。

禁止となる不当な表示は以下の3種類です。

①優良誤認表示(品質・規格、その他の内容に関する表示)

(例)「国産有名ブランド牛肉」と表示しながら、実際には国産有名ブランド牛ではない国産牛肉だった。

②有利誤認表示(価格、その他の取引条件に関する表示)

(例)チラシに「地域で一番の安さ」と表示しながら、実際には周辺店舗の価格調査をしておらず、根拠のないものだった。

③指定告示表示(6種類のうち食品に関係するものを抜粋)

(例)パッケージにミカンの写真を掲載しているが、実際には無果汁だった。

詳しくは、岐阜県ホームページ「くらし」内、消費生活「岐阜県消費者の窓」の「事業者の方々へ～景品表示法関係～」をご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/shohi-seikatsu/sodan/horei/keihinhyoujiho.html>

市長からの

たより

vol.10

「関音楽劇の会」公演に
関市の文化の力を見ました

昨年12月8日、「関音楽劇の会」の第1回公演が文化会館大ホールで行われました。

平成15年の県民文化祭において、関市で地域の昔話の音楽劇が開催されたことがあったそうですが、こうした文化活動を終わらせることなく再び公演しようとして、一昨年12月に有志の皆さんで「関音楽劇の会」が結成されました。出演者を公募して昨年5月から練習を始められ、老若男女を問わず多くの方が参加されています。

今回の演目は「名無し木」、「狐の嫁入り」、「豆の木地蔵」の3つ。関市に伝わる昔話ばかりです。いづれの演目もそのレベルの高さにビックリ。舞台上立つのは初めての方もいらしたそうです。が、そんなことはみじんも感じさせない、堂々とした舞台でした。市民の皆さんが



関音楽劇の会公演「狐の嫁入り」

中心になって、これだけ質の高い音楽劇が演じられることに、心からうれしく思いましたし、関市に流れている文化力の強さを感じました。

音楽劇を通じて、私たちの故郷・関市の歴史・文化を見つめる機会となりましたし、子どもたちには関市に誇りと愛着をもってもらうために見てもらいたい、と感じました。

・・・と偉そうに書いていますが、実は私も「豆の木地蔵」の昔話は初めて知りました。公演が終わった後、その足で図書館に向かい「関のむかし話」3冊を借りました。

私自身、今年は改めて関市のまちの物語をひも解く1年にしたいと思います。

平成25年11月16日～12月15日にあった
市内の話題を中心にご紹介します。

あんなこと、 こんなこと



関市イメージキャラクター
「関＊はもみん」



感謝をこめて「ありがとう!」

11月25日、松溪保育園の園児が中濃消防組合関消防署を訪れ、勤労感謝の日にあわせ日ごろの感謝をこめたプレゼントを渡しました。この日は年中児と年長児62人が署を訪れ、「いつもありがとうございます」と大きな声とともに花束と手作りのプレートを贈呈。署員は満面の笑みで受け取っていました。この後、園児らは消防士の仕事などの説明を聞き、消防署内を見学しました。



地域の未来は地域の住民の手で

11月24日、田原小学校において田原地域委員会の設立総会が行われました。総会に先立ち、愛知大学の今里佳奈子教授の講演会が行われ、集まった約150人の地域住民は、まちづくりの先例などを熱心に聴講しました。総会では地域委員会の会則や地域振興計画が承認され、新たな役員が選出されました。田原地域委員会は「田原みらいづくり協議会」という名称で4月から活動をスタートします。

関について語りましょう

「あなたの関、わたしの関について語りあいましょう」と題して11月24日、第1回関まちカフェが開催されました。その名のとおり飲み物を口にしながら、まるでカフェにいるような、くつろいだ雰囲気の中で、参加者が我がまちを自由に語り合い、一緒に考える場として開かれます。12月6日には第2回目が開催され、参加者からは独創的なアイデアが発表されました。まちカフェは2月までの間、残り2回が予定されています。



秋晴れの下、ランナー快走

今年で23回目の開催となる「ほろどキウイマラソン大会」が11月24日、すばらしい秋晴れの下、開催されました。今回は、1778人のエントリーがあり、ランナーは10、5、3キロの3コースを沿道からの熱い声援を受けながら駆け抜けました。発着点となった洞戸事務所周辺では地元小中学生によるセレモニーや、地元特産品などのグルメコーナーも設けられ大にぎわい。大会を大いに盛り上げました。

晩秋の山里を駆け抜けました

武芸川から洞戸、板取地域にかけて設定された2つのコースを自転車で巡る「せきサイクル・ツーリング2013」が11月30日、初開催されました。紅葉や清流といった自然の美しい景色を楽しみながら、また鮎雑炊やじゃがいもドーナツ、キウイフルーツといった地元の食材を味わいながら、県内外から集まった参加者は、自分のペースで自転車を走らせ、さわやかな秋の一日を満喫しました。



冬の夜空に輝きを放ちます

今年も市役所南の市民広場を舞台に、「VIVA！関！輝きのメタルアート〜ハモミリヲ」イルミネーションコンテストが開催されました。12月8日、同会場で点灯式が行われ、暗闇の中にイルミネーションの光が浮かび上がると大きな歓声が起こりました。刃物のまち関ならではの金属素材で製作した「メタルアート」も美しい光の輝きをまとい、訪れた人の目を引きつけていました。